※令和４年度以降入学生用

学校番号	3015

令和８年度　芸術科

教科	美術科	科目	美術Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高校生の美術２　（日本文教出版）						
副教材等	使用なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

自分の想い、夢や想像などから、表現することや伝える人や使う人の気持ちを考えて、形や色彩の効果を生かして考えを伝えることを学ぶ。
作品制作は、自己のスピードで順番に完成し、次作品にとりかかる個人進度の形式で行う。
美術全般について知識を深める。美術検定やコンクールに挑戦する。

２　学習の到達目標

美術の幅広い活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。
（１）造形的な視点で対象や事象をとらえて理解できるようにする。
（２）美術の働きについて考えたうえで主題を発想し、構想を練り創造的に工夫する。
　　また美術や美術文化に対する見方や感じ方を深める。
（３）美術や美術文化と積極的に主体的に関わり、表現や鑑賞による創造活動に取り組む

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 意図に応じて表現方法を創意工夫し､創造的に表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	素描	【絵画・鑑賞】 構造・空間・光・材質感を意識して描写した卓上器物静物画の鉛筆素描。 美術系入学試験の実技実践例の紹介。	a:描写することに関心を持ち、全体のイメージで捉えることを理解している。 b:形や白～黒の諧調の働きを考えて表現しようとしている。 c:鉛筆の特性を生かし、表現方法を創意工夫しながら取り組もうとしている。	ワークシート アイデアスケッチ 作品	ワークシート アイデアスケッチ 作品	授業観察 ワークシート 振り返りレポート
	着彩	【絵画・鑑賞】 構造・空間・光・材質感を意識して描写した卓上器物静物画の水彩絵の具着彩画。 美術系入学試験の実技実践例の紹介。	a:描写することに関心を持ち、全体のイメージで捉えることを理解している。 b:形や色彩の働きを考えて表現しようとしている。 c:絵具の特性を生かし、表現方法を創意工夫しながら取り組もうとしている。	アイデアスケッチ 作品	アイデアスケッチ 作品	授業観察 振り返りレポート
	工芸彫刻	【絵画・彫刻・鑑賞】 大・中・小の角材を組み合わせ抽象的な立体作品を制作。 現代彫刻や美術系入学験の実技実践例の紹介。	a:アイデアスケッチに意欲的に取り組み、空間全体のイメージで捉えることを理解している。 b:角材の特性を考えながら表現の構想に取り組もうとしている。 c:角材の特性を生かし表現の創造活動に取り組もうとしている。	ワークシート アイデアスケッチ 作品	ワークシート アイデアスケッチ 作品	授業観察 ワークシート 振り返りレポート
後期	読書感想画	【絵画】 国語との教科横断型授業として読書力を絵画表現に生かす。 コンクールに応募することで自作を客観的に批評鑑賞する。 1年次よりもサイズの大きな作品に取り組む。	a:読書から得た感動を色や形に置き換えて絵画表現できる。 b:技法を工夫して意図を伝えるために的確に表現している。 c:作画意図を的確に文章で表現できている。	ワークシート アイデアスケッチ 作品	ワークシート アイデアスケッチ 作品	授業観察 ワークシート 振り返りレポート

※令和４年度以降入学生用

後期	紙粘土彫刻	【絵画・彫刻】 抽象彫刻のアイデアスケッチを考える。 アイデアスケッチをもとにして粘土ベラなどを用いて制作する。	a:抽象彫刻の概念と造形について理解している。 b:イメージや美しさなどから発想を深め、創造的な表現の構想を練っている。 c:総合的に考えて構想を練り、表現の創造活動に取り組もうとしている。	ワークシート 作品	ワークシート 作品	授業観察 ワークシート 振り返りレポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度